

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		患者送迎バス運行事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	03 地域移動手段の確保（重）	
項		01 保健衛生費	小分類		01 地域移動手段の確保（重）		
	目	04 医療対策患者送迎費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,925	2,648	6,710	2,411	6,914
	財源 内訳	国県支出金	0	0	3,800	0	3,800
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,925	2,648	2,910	2,411	3,114
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
・ 公立加美病院に通院する町民							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
・ 公立加美病院に通院する地域住民の交通手段の確保							
⑤	事業概要						
4コースを設け、各コース週2回運行している。 1コース：袋～大原～北大～南大～伝八～道命～一の関～向町～二反田 2コース：清水～平沢～高根～志津～上高城～下高城～吉田～下黒沢 3コース：鷹巣～小栗山～上黒沢 4コース：新田～花川沢口～王城寺～上郷							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
平成29年度より委託事業から嘱託運転手を雇用し、直営事業とした。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
町単独による事業							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	利用者数	単位：人	実績値	1,799	1,722	1,360	
			目標値	0	0	0	
定義	患者送迎バスの利用者数 ※交通弱者の利便性確保のための事業で収益を目的としていないため、目標値の設定は難しい。						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	平均乗車人員	単位：人	実績値	5	5	4	
			目標値	0	0	0	
定義	患者送迎バス1台当たり利用者数 ※交通弱者の利便性確保のための事業で収益を目的としていないため、目標値の設定は難しい。						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	交通弱者の移動手段の確保のため必要である。	
点数	12	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	4
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	高齢化社会が進行する中、交通弱者にとっては有効な事業である。	
点数	12	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	3
評価の説明	患者送迎の外、買い物、用足しなど、高齢者の足の確保として増便の要望もあるが、現状では難しい。	
点数	11	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	実績は多くないが、利用者にとっては大切な交通手段である。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	現状では必要な事業であり、平成29年度より委託事業から直営事業に変更し運用を行っている。今後は、他の施策と連動し相乗効果を図っていきたい。
合計点	39	
今後の方向性	改善の上継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		児童生徒送迎事業				
	担当課・係名		教育総務課 総務係 学校教育係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 地域移動手段の確保 (重)	
		項	01 教育総務費		小分類	01 地域移動手段の確保 (重)	
目		04 児童生徒送迎事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		39,343	39,343	39,300	39,300	39,664
	財源 内訳	国県支出金	2,093	2,103	1,940	1,940	0
		その他特定財源	8,433	8,493	7,903	8,126	8,629
		一般財源	28,817	28,747	29,457	29,234	31,035
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
小・中学校児童生徒							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
公共交通機関の乏しい遠距離地区の児童生徒の通学手段を手助けするため、スクールバスを運行し、安全且つ確実に送迎する。							
⑤	事業概要						
公共交通機関の乏しい遠距離地区の児童生徒の通学手段と安全確保のため、町が委託したバスで送迎を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
不審人物等の出没が増え、児童生徒の安全確保がより求められている。							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
色麻町スクールバス運行管理規定 (平成18年9月27日教育委員会訓令第4号)							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：人	実績値	327	306	287		
		目標値	310	310	310		
定義 スクールバス利用者数							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 9	通学手段と安全確保のため、必要な事業であり、民間委託を実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	3
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 点数 11	共働き家庭の増加で、子どもの送迎ができない家庭においては有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 12	園児送迎バスと調整を図り、安全な運行を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	事業の性格上把握できない。

⑪	課長総括評価 合計点 35	通学手段と安全確保のためにも送迎事業は有効である。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		園児送迎事業				
	担当課・係名		教育総務課 総務係 学校教育係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	10 教育費		中分類	03 地域移動手段の確保（重）	
		項	04 幼稚園費		小分類	01 地域移動手段の確保（重）	
目		02 園児送迎事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		19,839	19,839	19,812	19,812	19,996
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	1,056	1,727	1,056	1,542	1,056
		一般財源	18,783	18,112	18,756	18,270	18,940
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻幼稚園園児						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 幼稚園児の安全且つ確実な送迎を行うことにより、交通事故防止に貢献する。						
⑤	事業概要 幼稚園児の通学手段と安全確保のため、町が委託したバスで送迎を行う。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位： 人	実績値	72	71	71	
			目標値	70	70	70	
	定義	園児送迎バス利用者数					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 11	通学手段と安全確保のため、必要な事業であり、民間委託を実施している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	目的達成のため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	スクールバスと調整を図り、安全な運行を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	高い割合で利用している。

⑪	課長総括評価 通園手段と安全確保のためにも送迎事業は有効である。 合計点 44
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	